

特集

卒後の移行期支援を考える

移行期支援の意義と展望

佐藤紀子

慈恵会医科大学の移行期支援 アンケート調査からみえた課題と展望

高橋衣／中尾みさ子／務臺理恵子／山本伊都子／海老原樹恵

師長が語る背景と展望

小島順子

教員が語る背景と展望

浅川友祈子／伴美智子／那須詠子／柳原和代

京都橘大学の移行期支援

野島敬祐

卒業生の経験と思い

林 果実

鹿児島医療技術専門学校の移行期支援

花園千恵子

卒業生の経験と思い

鹿島三千代

社会医療法人愛仁会の移行期支援

増山路子

卒業生の経験と思い

川口奏恵／田原侑弥

焦点

【鼎談】地元と連携し創成をめざす看護系大学および看護系大学協議会の

取り組み

綿貫成明／山本あい子／三重野英子／坂下玲子／西村ユミ

巻頭インタビュー

Message from Overseas 海外からのメッセージ

連載

看護教員のつぶやき 第4回小池祥太郎

この養成所のここが気になる! Vol. 6 釧路労災看護専門学校池西静江／杉山好美

臨床判断能力の育成!

実践的な思考を促す事例づくり試案 第6回奥 裕美／畠山有希

情報処理・パソコンリテラシーの授業展開

ICTを活用するための基礎的能力育成に向けて 第6回友滝 愛／[監修] 政岡祐輝

臨床倫理を映画で学ぼう! plus 第6回浅井 篤

看護教育 第63巻5号(通巻756号)

2022年10月25日発行(年6回発行)

発行: 株式会社医学書院

代表者: 金原 俊

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

販売・PR部 TEL: 03-3817-5650

『看護教育』編集室 TEL: 03-3817-5776

メールアドレス: kankyou@igaku-shoin.co.jp

担当: 番匠・坂元・野中・近江

Published by IGAKU-SHOIN Ltd.

1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo

©2022, Printed in Japan

印刷: 株式会社双文社印刷

1部定価 2,750円(本体2,500円+税10%)

2022年年間購読料(送料弊社負担、年6冊)

冊子+電子版/個人: 16,500円

(本体15,000円+税10%)

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

JCOPY

〈出版者著作権管理機構委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつと事前に出版者著作権管理機構(TEL: 03-5244-5088, FAX: 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。

『看護教育』は株式会社医学書院の登録商標です。

編集後記

本誌の担当となり最初に立てた企画が2014年9月号の『ナースナースアップデート』でした。若気の至りか、思い切った小玉香津子先生にお手紙を差し上げ、「なぜ今日もナースナースなのか」の記事をご執筆いただきました。そこには、「日本の場合は右手に『看護覚え書』、左手に『看護の基本となるもの』といった事象下で、ナースたちは看護についてぐっとわかるようになったのではなかったか」という言葉があります。この左手の重みを、あらためて感じる吉田先生の記事となりました。プレゼントキャンペーンも、ぜひご応募ください。(番匠)

「メンターとコーチはどう違うのだろう」そんな素朴な疑問が浮かびました。取材を進めるなかで、コーチは比較的短期間の指導者、メンターは長期間、場合によっては生涯にわたって「伴走」してくれる存在ということがわかりました。私はこの「伴走」という言葉が好きです。寄り添って背中を押してくれるような優しい響きを感じるからです。皆様にも伴走してくれるすばらしいメンターとの出会いがあることをお祈り申し上げます。(野中)

特集2では、上手なコミュニケーションをとるための方法とは趣向を変え、今の学生をとらえ、コミュニケーションを見つめ直すことに着目しました。仲嶺先生が原稿内で「学生の姿をとらえるには学生を『見る』しかない」と述べられ、何か大切なピースを忘れていなかったかと胸を打たれた気分です。澤海先生は社会心理学が専門で、「いじり」「コントロール方略」「シャイネス」など、興味深い研究をされています。ほか、新田先生、堀田先生、秋山先生からさまざまな示唆に富む寄稿を頂戴しました。ぜひ一読くださいませ。(坂元)

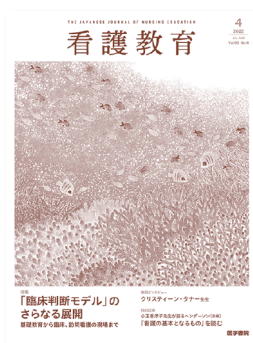
BACK NUMBER

バックナンバーのご案内

2022年4号

特集 「臨床判断モデル」のさらなる展開

基礎教育から臨床、訪問看護の現場まで



クリスティーナ・タナー先生が2006年に発表した論文「Thinking Like a Nurse: A Research-Based Model of Clinical Judgment in Nursing」で、看護師の臨床判断がモデルとして表現されました。特集では、網羅性よりも、看護師のその場、そのときの思考に着目した、このモデルの意義を再確認するとともに、基礎教育や現場でのさまざまな活用事例、また、2022年に新たに示されたモデルの改変ポイントについても解説していただきました。

2022年3号

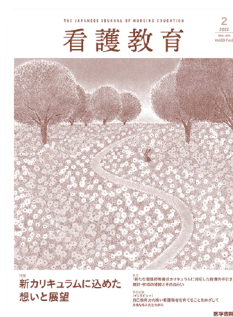
特集 地域とつながる看護教育



第5次指定規則改定では地域・在宅看護論が新設されるなど、看護基礎教育において、地域の重要性が着目されるようになっていきます。カリキュラム全体を通して、より地域で活躍できる看護師の育成を重視した教育機関の取り組みや、今後広がる実習先についてご紹介いただきました。

2022年2号

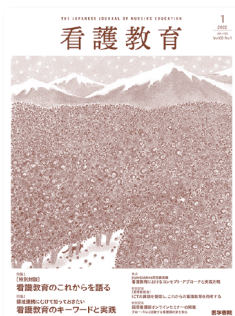
特集 新カリキュラムに込めた想いと展望



専門学校や大学、高等学校などさまざまな教育機関の先生にご登場いただき、地域性や学校の設立趣旨、理念などの特徴をふまえた新カリキュラムの内容に加えて、これからの展望について紹介いただきました。

2022年1号

特集1 [特別対談] 看護教育のこれからを語る 特集2 領域連携にむけて知っておきたい 看護教育のキーワードと実践



特集1では、さまざまな立場で看護基礎教育に携わられている先生方に、これまでの教育や現状を振り返るとともに、今後の展望について対談形式でお話いただきました。／特集2では、各看護学領域を指導されている先生方に、国家試験や教科書の内容などもふまえて、近年の教育内容を紹介いただきました。

2021年12月

特集 教育機関と医療機関の協働による 「これからの実習」



神戸大学病院医学部附属病院で開発された模擬電子カルテシステムを用いた複数施設の取り組みを、教育機関・医療機関の両側から解説。コロナ禍の経験を経た「これからの実習」について考えます。

バックナンバーご購入 & 年間購読お申し込み方法

- ・最寄りの書店 & 生協にてご注文
- ・ホームページ <https://www.igaku-shoin.co.jp/journal-subscription>
- ・お電話にて TEL : 03-3817-5650 (医学書院 販売・PR 部)

○ 2020年10号 (Vol. 61 No. 10) 以前の号についてのご注文や在庫の照会
は下記へお問い合わせください。
株式会社東亜ブック TEL : 03-5947-4781 FAX : 03-3923-4539
<http://www.toabook.com>